

＼“ネット購入品の事故” 増えてます！

「ポチる」前に確認を！

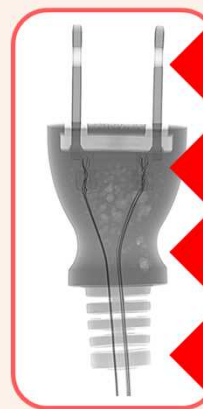


POINT
1

他の製品と比べて 極端に安価ではないか

極端に安い場合は安全性に対しての試験が実施されていなかったり、材質や設計等に必要なコストをかけていない可能性があります。

例) 安い製品をX線で見ると…



プラグがアルミ

かしめが不十分

樹脂に気泡

電源線が細い

比較品



POINT
2

信頼できる販売元か

不具合があった際に、連絡が困難となるケースが発生しています。販売元の情報を確認し、サポートが日本語に対応しているか、連絡先が海外になっていないか確認しましょう！

POINT
3

「PSマーク※」の近くに事業者名があるか

<p>○ 正しい表示例</p> <p>届出事業者名 PS E 定格電圧: 5V 定格容量: 3,500mAh</p>	<p>✗ リスクの高いバッテリーの表記例</p> <p>Rechargeable Li-Ion Battery Model: BL1860 (51CR19 66-2) 18V 6.0Ah = 108Wh LA 警告 PS CE 事業者名が記載されていない</p>
--	---

(※) 電安法の対象はPSE、消安法はPSC、ガス事法はPSTG、液石法はPSLPGのマークとなります。

POINT
4

リチウムイオン電池搭載製品は購入前に廃棄方法を確認！

一般のごみとして捨ててしまうと**火災の原因**になります。購入前にお住まいの自治体や家電量販店等に回収の可否や方法を確認しましょう！

モバイルバッテリーがゴミ収集車で発火 (イメージ) →

